

3 飼料作物

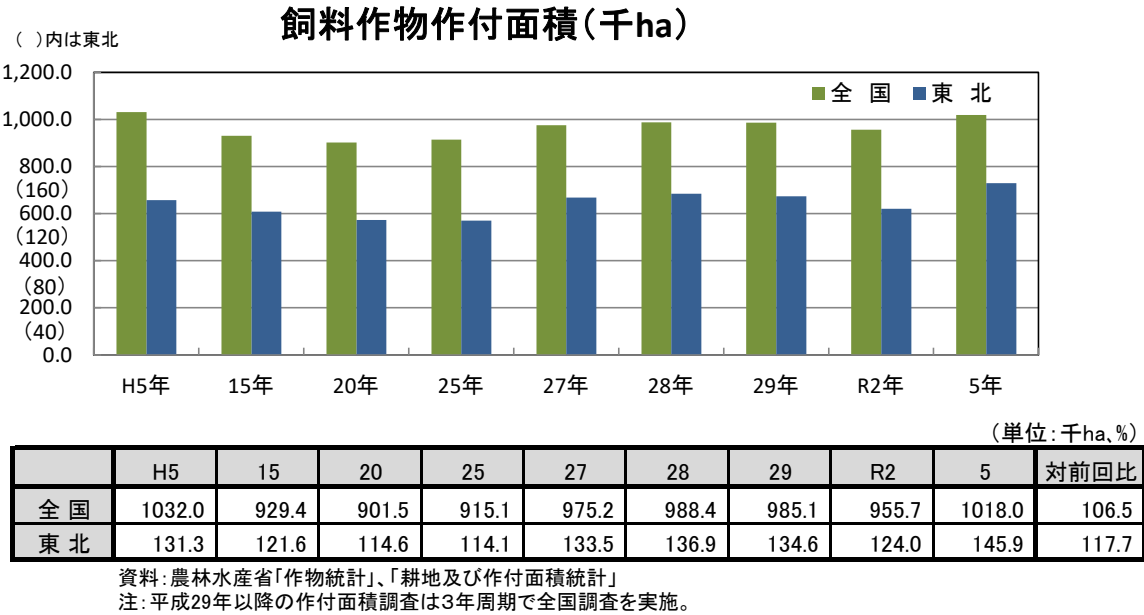
3-1 飼料作物の作付動向

- 令和5年飼料作物作付面積は146千haと、令和2年に比べ22千haの増加(令和2年比17.7%増)。
飼料作物作付面積は、平成25年までは増減を繰り返し推移。平成27年に増加に転じたのち横ばいで推移していたが、令和5年に増加した。

- 令和5年の県別の作付面積は、岩手県が47千haで最も多く、次いで青森県の28千ha、宮城県の26千ha、福島県の21千ha、山形県、秋田県の12千haとなっている。

3-2 稲発酵粗飼料の作付動向

- 稲発酵粗飼料作付面積は、近年はほぼ横ばいで推移していたが、令和3年より増加傾向となり、令和6年は前年比8.2%増の10,270haとなっている。
- 県別では、宮城県が2,974haで最も多く、次いで岩手県の2,532ha、秋田県の1,367haとなっている。



◎稲発酵粗飼料の作付面積の動向 (単位: ha, %)

	H20	28	29	30	31	R3	4	5	6	対前年比
全国	9,233	41,490	42,891	42,537	42,450	44,248	48,404	53,055	56,479	106.5
東北	2,356	7,593	7,699	7,476	7,457	7,946	9,038	9,494	10,270	108.2

資料: 21年度までは東北農政局畜産課調べ。22年度以降は新規需要米の計画認定状況による。

◎県別稲発酵粗飼料作付面積(令和6年) (単位: ha)

県名	面積	対前年比
青森県	933	118.4%
岩手県	2,532	105.7%
宮城県	2,974	107.9%
秋田県	1,367	110.7%
山形県	1,366	110.3%
福島県	1,098	101.8%
計	10,270	108.2%

注: ラウンドの関係で合計と内訳は一致しない。